

平成27年台風11号洪水における柳瀬ダムの洪水貯留効果

平成27年台風11号による7月16日02時からの流域平均総雨量は、銅山川流域で約145mmを記録しました。（7月17日8時現在）

この降雨による洪水に対し、柳瀬ダムは洪水貯留を行い、下流の被害軽減に努めました。

	最大流入量	最大流入量観測時間	最大流入時放流量	最大流入時調節量
柳瀬ダム	毎秒約731立方メートル	7月17日02時40分	毎秒約715立方メートル	毎秒約16立方メートル

もしダムが整備されていなければ、吉野川水系銅山川吉野瀬（四国中央市新宮町）地点で約12cm水位が上昇していたと想定されます。

※本資料における数値は現時点の速報値であり、今後修正する可能性があります。

平成 27 年 7 月 17 日

国土交通省 吉野川ダム統合管理事務所

～大自然の恵みをくらしに活かす～
柳瀬ダム管理60周年

国土交通省 吉野川ダム統合管理事務所

材に 妙オ
○管理課長 大谷 忠夫 （内線331）
(TEL) 0883-72-3000

平成27年台風11号の柳瀬ダムにおける洪水貯留効果

② 最大流入時の放流量

毎秒約715 立方メートル

(平成27年7月17日02時40分観測)

①-② ダムで貯めた量

毎秒約16 立方メートル

① 最大流入量

毎秒約731 立方メートル

(平成27年7月17日02時40分観測)



④ 洪水前のダム貯水位

EL. 285.69 m

(平成27年7月17日01時20分観測)

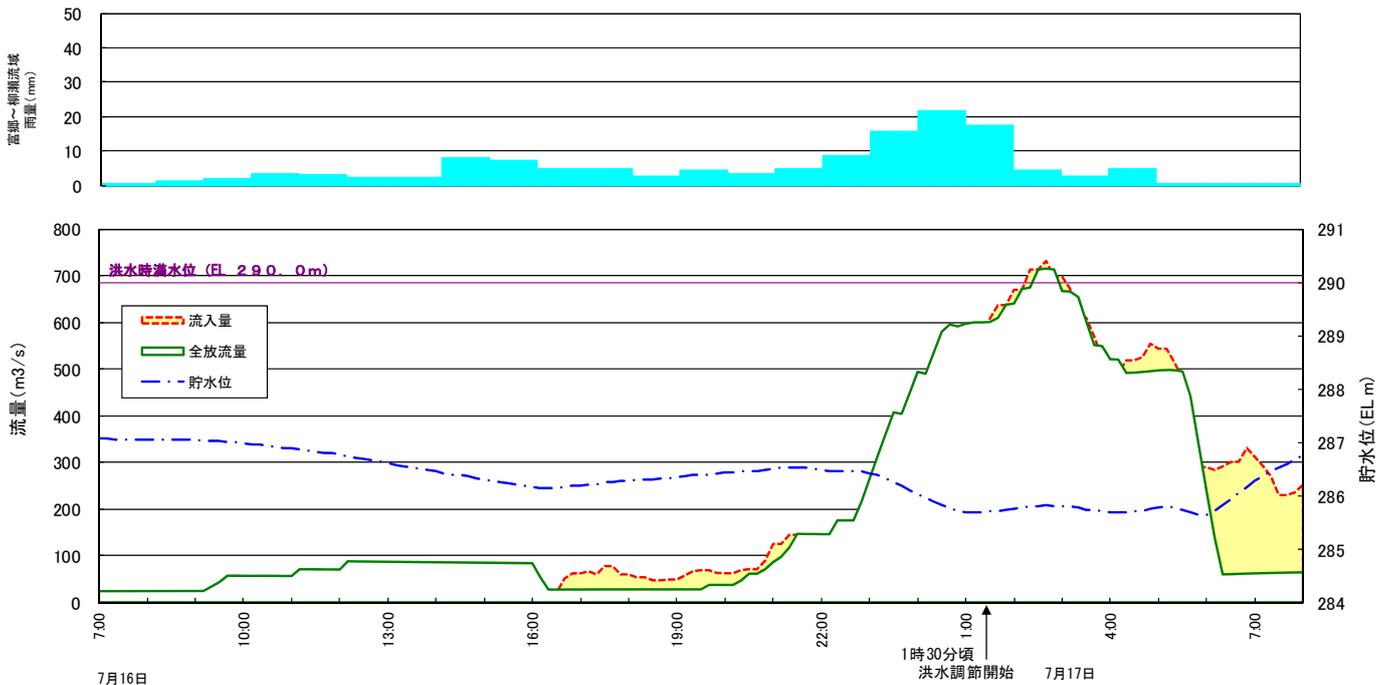
③-④ ダム水位上昇量

0.04 m上昇

③ 現在のダム貯水位

EL. 285.73 m

(平成27年7月17日3時40分観測)



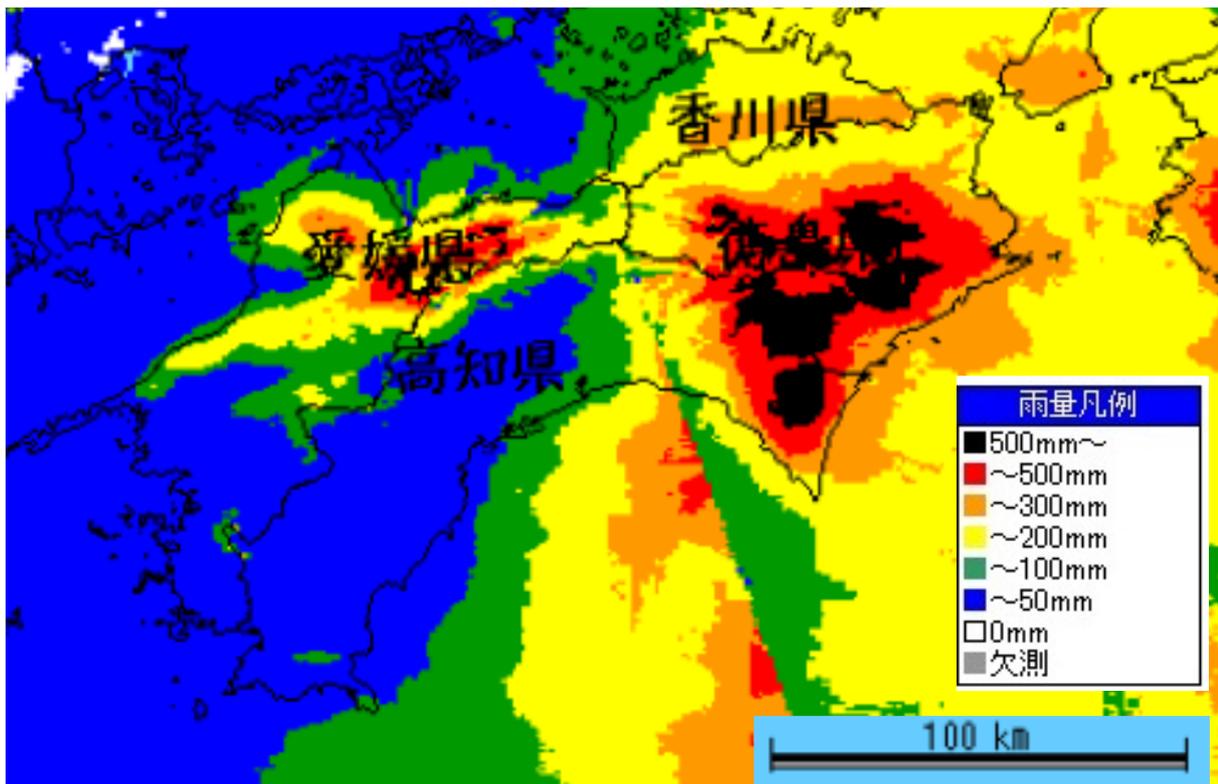
治水事業の効果

～平成27年7月16日 台風11号による大雨における事例～

- 大型の台風11号は室戸岬付近に上陸して四国を北上し通過しました。
- 台風の影響により、7月16日2時から7月17日8時までの流域平均総雨量は、銅山川流域で約145mmを記録しました。

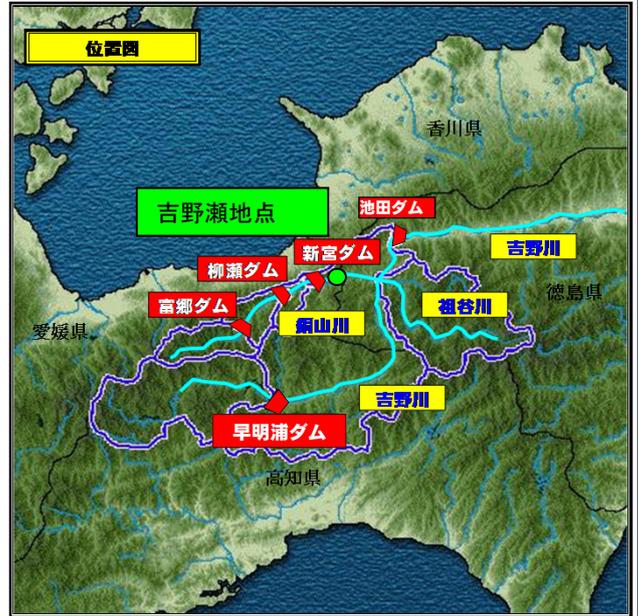


7月16日02時～7月17日8時の累計雨量分布(国土交通省)



ダムが効果を発揮(柳瀬ダム)

柳瀬ダムで貯留した結果、愛媛県四国中央市新宮町吉野瀬付近の水位を約12cm低下させる効果がありました。



約12cmの水位低減効果(推定)

愛媛県四国中央市新宮町吉野瀬付近

国道319号

